



代表取締役社長

松本元春

当社は「ガラスの持つ無限の可能性を引き出し、モノづくりを通して、豊かな未来を切り拓く」という企業理念を掲げ、最先端の技術開発、最高水準の品質、高効率の生産、潤沢な製品供給を実践することで「世界一の特殊ガラスメーカー」を目指しています。またその中で“自然との共生”を大切な価値観の1つであると位置付け、自然と共存することを常に意識し、環境負荷の低減に努めています。

世界一環境にやさしいガラスメーカーが世界一効率の高いモノづくりを達成できると信じています。ガラスを供給することで社会の発展に貢献する一方、製造工程では大量の天然資源、水、エネルギーを消費しています。効率が高く、環境負荷が少ないモノづくりを実践することで天然資源やエネルギーの有効活用と環境保全を実現し、生物多様性の保全や地球温暖化の防止につなげることはモノづくりの責務です。

2000年から取り組んでいる「環境のビジネスプラン」は事業経営の手法を環境保全活動に応用した当社独自の活動で、「廃棄物」「水」「排ガス」の3つをテーマに、3R（リデュース、リユース、リサイクル）活動を展開しています。生産に使用する水とエネルギーをミニマムにし、環境負荷をミニマムにするという活動です。同時に、3R活動のPDCAを繰り返し回すことにより、

生産活動の在り方を再考し、プロセスやシステムの改善に繋がります。

ガラス製造には多種で多量の化学物質を使用し、その中には人や環境に有害なものも含まれます。これらの使用量の削減はもとより、保管、輸送、廃棄等の管理レベルを高め、化学物質に関する安全性を保証する活動にグローバルに展開し、取り組んでいるところです。

昨年末には、液晶板ガラス事業では中国で最初の溶融・成形拠点となる電気硝子（厦門）を稼働させ、今年には液晶板ガラスの加工を電気硝子（南京）で、医薬用管ガラスの新設備をマレーシアの子会社にて立ち上げます。これらの新拠点、新設備には世界一のプロセス技術と環境技術の導入を目指しています。

地球環境の保全は21世紀において、文明と人類の繁栄に不可欠の最重要課題です。

当社はグループ各社とともにガラス事業を通じて地球環境の保全と循環型社会の実現に寄与して参ります。ここにその一端をご紹介します「環境報告書2016」を作成しましたので、私たちの環境への取り組みと現状についてご一読いただき、ご意見を賜れば幸いです。

2016年9月